

動名詞のつまずきは、形(ing)が進行形と同じなのに働きがまるで違うことです。「動詞の名詞化」を文法用語で説明する代わりに、この授業案では「ingは動詞を缶詰にするフタ。缶詰になった動詞は名詞の棚に置ける」というメタファーで通します。素材は生徒がいちばん語りたい「趣味」。導入の1コマで、enjoy ~ing から主語になる動名詞(Playing games is fun.)まで届きます。

この教材で解決できる悩み

- ・ 進行形のingと動名詞のingが生徒の中で混線する
- ・ 「動詞の名詞化」という説明で目が泳ぐ
- ・ want to(不定詞)を学んだ直後で、to と ing の使い分けに突入してしまう

教材の概要

項目	内容
対象	中学2年(BLUE SKY 2 Unit 5)
文法項目	動名詞(enjoy / like / be good at ~ing・主語の動名詞)
形式	授業案A4・3ページ+趣味紹介カード
所要時間	50分×1コマ
準備物	教師の趣味がわかる写真か実物(あれば効果大)

授業の流れ(50分)

導入: 先生の趣味プレゼン(12分)

実物や写真を見せながら、動名詞入りの文で趣味を語ります。

- ・ I enjoy taking photos of ramen.(撮った写真を見せる)
- ・ I like watching soccer at night.
- ・ Cooking is fun for me. But washing dishes is not fun.

最後の対比(楽しい／楽しくない)で笑いを取りつつ、Cooking が文の先頭＝主語に立っていることをさりげなく聞かせておきます。

メタファー投入: 動詞の缶詰工場(10分)

板書で cook(動詞)に ing のフタをかぶせて canned(缶詰化)する絵を描きます。「缶詰になった動詞は『～すること』という名詞。名詞だから、好きなものの位置にも、文の主語にも置ける」。進行形との違いを聞かれたら「あっちは be動詞とセットの実況、こっちは缶詰。フタは同じでも中身の使い方が違う」で十分です。

展開: 趣味紹介カード(20分)

カードに「enjoy／like／be good at + 缶詰動詞」で自分の趣味を3文書き、グループで紹介し合います。動詞バンク(play / watch / read / draw / listen to / collect...)つき。聞き手は Me too! / Sounds fun! で反

応し、グループで「意外だで賞」を1人選びます。

まとめ: 缶詰を主語に(8分)

自分のカードから1文選び、「Playing games is fun.」の型に変換して板書に集めます。缶詰1個は単数=isで受ける、を最後の豆知識として置いて終了。

want to との使い分け(enjoy は ing しか取らない等)は、この日は扱わないでください。「動詞にはそれぞれ相棒がいる。enjoyの相棒は缶詰」とだけ言っておき、リスト化は両方が出そろった单元末が最適です。導入日に対比表を出すと、せっかくの缶詰メタファーが暗記表に化けます。

定着への接続

翌時の帯活動は「缶詰しりとり」(前の人趣味文の動詞を使って I enjoy ~ing too. / I don't like ~ing.)が手軽です。書く定着は、スリップ文集の型(1文回収→文集化)を「My hobby is ~ing.」お題で回すと、接続詞 whenの回と同じ運用で回せます。